

3 日本の風景いつまでも

童謡歌にも歌われる日本の里山は美しい。だが、その美しさは常緑樹から落葉樹へと樹種転換した山を、手入れしながら守りつづけてきた先達の努力があった。鳥取市を拠点に森林保護に取り組む広葉樹文化協会会長の岸本潤さんへは、「今は経済性が優先される。一見して何の価値もないように見える雑木林の保全を訴えるのは私ぐらいのものでした」と笑う。

広葉樹文化協会の活動は幅が広い。会員は約七百人で四季の雑木林を歩く会、身近な自然、里山の雑木

大学農学部長を経て定年退職した。大学では未利用広葉樹の有効利用や木材の化学的識別に関する研究などを行ってきた。



「経済的に成り立たないから、その国で里山を保全するべきです」と森林保全にかける意気込みを語る岸本潤さん

暮らした 森林の 共生

て、身近な落葉広葉樹林(雑木林)を見直し、温存、増殖につとめ新しい役割を考え、資源、環境、文化として活用する方法を模索することを目的に一九九一年五月に旗揚げした。岸本さんは、九〇年に鳥取

広葉樹文化協会(鳥取市古方町二丁目)会長・岸本潤取次大学名誉教授は自然破壊が進み、すべてが人工化していく世相の中で、自然を取り戻すための活動とし

守るのは私たち

林を見直す啓発活動、雑木林に小径(こみち)をつける運動、林芸(フォレストアート)活動の推奨、推進、機関誌の発行などを行っている。

岸本さんは講演で「明るい森」と「暗い森」の例えを引き合いに出して雑木林の重要性を訴える。「明るい森とはブナやナラ、クスギなどが群生した落葉広葉樹林。暗い森とはシイやクスノキ、タブなどの常緑広葉樹の森。放っておけば人と共生してきた里山の雑木林は消えてしまふ」と危機感を募らせる。

日本の森林は、温度、水分などから生態的には常緑樹が大半を占める位置にある。現在の里山は祖先が常緑樹を伐採して切り開いてきたいわば既得圏域。戦後までは里山で薪を切り、落ち葉を肥料にしてきたため山の秩序は守られてきた。だが、高度経済成長とともに農家の生活は大きく様変わりし、いつの間にか人と里山の関係は薄れて利用もされなくなった。

岸

本さんは、農東部を中心に公民館、同好会などで俳句会の指導をしている。気さくで面倒見のいい岸本さんの人柄を慕う会員は多い。「経済的に成り立たないからこそ国策で里山を保全するべき。保全活動は社会への恩返しのもので取り組んでいます」と、語る温かな表情から森林保全にかける意気込みが伝わってきた。

山陰の間伐材を利用した紙容器入り ドリンクプレゼント

連載しています特集・広告に関するご意見を郵便またはFAXで募集しています。抽選で20名様に「間伐材を利用した紙容器入りの飲料」(提供 ポッカコーポレーション/250ml入り・24本)をプレゼントします。
ご意見をお送りいただく際にお名前、郵便番号、ご住所をご記入

ください。締め切りは11月30日消印有効。なお、当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。
ご記入いただいた個人情報はプレゼントの発送のみに使用させていただきます。
〒690-0062 松江市魚町10
山陰合同銀行地域振興部内
「森林を守ろう!山陰ネットワーク会議」プレゼント係
TEL 0852-55-1820
FAX 0852-28-0495

企画・編集 新日本海新聞社企画開発部

山陰両県の森林保全などに取り組むNPOなどが参加して「森林を守ろう!山陰ネットワーク会議」が設立されました。新日本海新聞社は活動の趣旨に賛同して同ネットワーク会議などの協力で森林保全の輪を広げる企画を来年3月まで随時掲載します。

豊かな緑を子どもたちの未来へ! 森林を守ろう!山陰ネットワーク会議

山陰の森林に関する活動を展開しているNPO法人やボランティア団体を中心にネットワークを構築し、森林保全の輪を広げる活動を展開します。

テントの下に集められた木はコナラやクスギ。この木を利用して椎茸の菌を植えています。豊かな自然にふれるためのイベント。でも目的はそれだけではありません。倉吉市の中央部を流れる天神川流域では、台風による水害が多く発生しています。防災という、重要な課題を解決するには、ふだんから川の上流の自然について、地元の方々から自らの足で歩いて、関心をもってもらうことが大切です。自然の大切さを肌で感じていただくこと。「サカズキネット」はこれからも様々なかたちでまちづくりに取り組んでいきます。

- 1.子供たちも椎茸の菌を植えるのに積極参加。
- 2.江戸時代にはたたら製鉄が盛んだった倉吉市浅井地区。現在では杉林におおわれた場所で、歴史の勉強も行いました。
- 3.砂防ダムが果たす役割も学習しました。

今回の森林保全活動 レポートその⑬に 登場する

1995(平成7)年、鳥取県倉吉商工会議所青年部の有志と鳥取県中部地域出身の原職員の有志が集まり、県中部の自然保護を中心とした「まちづくり」の啓蒙をはかるために発足。現在のメンバーは総勢43名。講演会、景観保護運動から自然観察、椎茸づくりまで、幅広い活動を行っている。

詳しくは
〒682-0855
鳥取県倉吉市南昭和町59番地
TEL 0858-22-3775
FAX 0858-22-3778
e-mail: sakazuki@apionet.or.jp
ホームページアドレス
http://www.apionet.or.jp/sakazuki/

山陰合同銀行 地域振興部内
鳥取県松江市魚町10 〒690-0062
TEL.0852-55-1820

みんなで
森林を守ろう!

自然を守ることは、 ふだんから 自然に親しむことから 始まります。



森林を守ろう!
山陰ネットワーク会議
参加団体のみなさん
(10月31日現在)
※50団体

鳥取県
NPO法人 賀露おやじの会(鳥取市)
NPO法人 サカズキネット(倉吉市)
NPO法人 とっとり希望化計画21(鳥取市)
広葉樹文化協会(鳥取市)
財団法人 南部町地域振興会(南部町)
杉の雫・吟醸の会(智頭町)
大山横手道上ブナを育成する会(米子市)

鳥取県木造住宅推進協議会西部支部(米子市)
鳥取市女性の森グループ(鳥取市)
トリネット(米子市)
日野川の源流と流域を守る会(日野町)
丸山生産森林組合(伯耆町)
三朝温泉かじか蛙保存研究会(三朝町)
森っ子倶楽部(鳥取市)

鳥根県
出雲市林業振興協議会(出雲市)
NPO法人 緑と水の連絡会議(大田市)
NPO法人 もりふれ倶楽部(松江市)
財団法人 鳥根県西部山村振興財団(浜田市)
里山を育てる会(松江市)
しまねフォレスト・ネットワーク出雲(出雲市)
薪ストーブ同好会(松江市)

松江ネイチャーゲームの会(松江市)
木質バイオマスエネルギー地産地消ネットワーク(松江市)
森の仲間(出雲市)
遊木民倶楽部(益田市)
特別協賛
新日本海新聞社・山陰中央新報社
特別協力
凸版印刷株式会社

